



王子ヶ浜

新宮市立王子ヶ浜小学校

<http://www.net-kumano.com/shingu/oujigahama/>



目的に向かっていく努力

青色ダイオードの発明で有名になられた中村修二さんが、自著のなかで、ご自身の経験を語られています。

そのなかに、人生で一番大切なキーワードとして「できない理由をさがすな。どうしたらできるかを考えろ。」をあげています。中村さんは、自分の専門外の仕事から独学に近い状態で研究し、部品の調達から研究機材の作成までされ、最終的には、赤色・青色ダイオードの発明をされたのです。

会社員時代にまだ発明されていなかった特殊な青色発光ダイオードの開発をしたいと社長にお願いし、会社から約3億円の開発費用をいただきました。その後、研究に使う機械をつくる勉強をするため、フロリダ大学に1年間留学し、日本に戻ってから、研究の装置の改造に取りかかりますが、研究のとりやめを求められます。その後、窒化ガリウムの結晶を作製する新しい機械を発明し、青色発光ダイオードの発明につながっていくのです。

私たちは、いろいろな壁にぶつかると、壁を乗り越えようと努力し、それでもうまくいかないときは、「〇〇がないからできない」とできない理由を探してしまうことがあります。

しかし、中村さんは、「〇〇がないからできない」ではなく、「自分のやりたいことは〇〇だ。そのためには、〇〇が必要だ」という前向きな姿勢で、自分で決めた目的に向かっていきました。その努力の結果が、新しい発明につながったのだと思います。

「目的に向かっていく努力」を自分の生活のなかに位置づけていくことが、これからの一人ひとりの「目的に向かう道」につながっています。子ども達の夢を育み、それを支えていくことを私たちの使命と考え、子ども達の毎日を見つめていきたいと思っています。

＜参考文献＞

中村修二「考える力、やり抜く力 私の方法」三笠書房 2010年。



子どもまつり

毎年恒例の児童会行事「こどもまつり」を去る9月21日盛大に開催することができました。

4年生以上の各クラスが、射的やピンポンバランスなどのお店を準備し、低学年の子ども達が楽しむという行事です。たづはら保育園・蓬莱保育所・王子幼稚園の皆さんも来校して、楽しんでくれました。

会場の準備や運営、それに参加・挑戦することを通して、自主性や自己肯定感が育ってくれることを期待しての活動です。「楽しい」「もう少しで新記録だったのに」「友達といっしょにまわってよかった」「小さい子が喜んでくれてやってよかった」など、にこにこ顔で話してくれました。



修学旅行

実際に見学することによって、社会科学などの学習の理解を深める、集団行動により規律ある生活をし、その意識を高める、ことを目的として、修学旅行を無事終えることができました。

見学先は、金閣寺・清水寺・阿倍野防災センター・東大寺・インスタントラーメン記念館・大阪市立科学館・京セラドーム・USJ でした。

日本史、防災、カップヌードル体験、科学体験、野球観戦、そして、USJ と、実際に体験することで学習を深め楽しむことができました。また、ホテルでの行動やバス乗車態度、見学場所での規律、食事のマナー等、どれをとっても模範になる行動をしてくれました。2泊3日の旅行で、今までの友情がさらに深まったことも大きな成果であると思います。

小学校生活で最も楽しい思い出になったことでしょう。



キャンプ

5日(木)6日(金)、潮岬青少年の家で、5年生がキャンプを予定しています。カレーづくりや友達との宿泊等、わくわく体験が楽しみです。